

# 花苗配布活動の歴史



## 花苗配布活動の始まり

今から20年くらい前に、駅川中学校が福祉協力校に立候補し、1991年に「地域と子どもたちのつながりを大切にしよう」という願いから始められました。今年で20年目になります。

### 1991年度～1992年度

- 独居老人家庭への花苗配布
- 老人ホーム「おぎくりょう」の花壇作り

### 1992年度

老人ホーム「おぎくりょう」での花壇作りの様子



# 校内の花壇作り

1991年度

生徒棟前に花壇を作りました。



1993年度



校門の横に花壇を作りました。

1995年度

○独居老人家庭への花苗配布のみになりました。

花苗は畑で育てていました。



花苗の仮植えの様子です。



花苗を配布するために袋に詰めています。



## 2006年度

「保護者も地域のことを知らない方が増えた。積極的に保護者も地域に出向こう」という願いから、保護者の方々が仮植えや配布活動を「ボランティアサポーター」として手伝ってくださるようになりました。

サポーターの方が仮植えを手伝ってくださっています。



サポーターの方が配布活動の手伝いに来てくださいました。



## 2010年度(本年度)

花苗集会



花苗集会で花苗配布活動の20年間の歴史や花について発表するボランティア部



美化部長挨拶



花苗配布活動の歴史を発表



志賀先生

花苗配布活動を始められた先生

駅川中学校はボランティア活動が出来る学校です。私たちは人から助けられて生きています。助けてくれる人たちに自分の持てる力で何か恩返しをしていく事が大切です。地域の人から支えられている駅中で何が出来るのでしょうか？駅中には、地域の人たちに何かする義務があります。花苗配布だけでなく、こんな事も出来るよというアイデアを出していく、どんどんアイデアを出していくことが本当のボランティア活動です。



岩崎先生

花苗配布活動を引き継がれた先生

Q:先生は、この活動をボランティア活動だと思っていましたか。

A:昔はボランティアという言葉が余り知られてなく、恩返しと思っていました。

Q:花苗配布をしているとき、お年寄りが喜んでくれていると思いますか。

A:思います。花苗を配ることよりも、お年寄りと話することが大切です。

Q:ボランティアで良かったこと・気をつけてほしいことは何ですか。

A:ボランティアは自分のためにする。ボランティアは自分を磨くことです。

# 花苗配布のお礼の手紙

平成21年6月2日  
平成22年6月3日  
前期花苗配布活動の後、地域  
方からいただきました。

## 花の苗 配布のお礼

昨日(合月)日 花の苗を受け取りました。孫から  
の贈り物の様を気がして嬉しくなりました。  
大事に大事に育てます。苗を云月の方へ大変  
根元と苦労のいる仕事ですが、云月苗を一通り  
蒔きみのある人格形成に役立て下さい。  
皆様様の労苦に感謝し、毎日の手入れを怠らな  
く、たく見事な花を咲せることを約束し、お礼の手  
紙とさせていただきます。平成21年6月2日

